

**意次の最期
——律義者の生涯——**

意次の地位と権力は、十代將軍家治の厚い信頼によって支えられていました。そのため、最大の理解者である家治の死去は、意次の失脚を決定的にしました。意次の領地や屋敷は、幕府によって次々と没収され、最終的には自身の隠居と謹慎が命じられました。幕府による処罰は、家督を相続した孫の意明（意知の長男）にも向けられました。相良藩の引き継ぎは認められず、相良城と領地は全て没収。代わりに、陸奥国下村（現福島県福島市下村）に一万石の領地を与えられ、かろうじて大名家として存続することを許されます。

さらに、天明8（1788）年1月には、意次の象徴たる相良城の取り壊しが行われ、跡形もなく処分されました。こうした田沼家への徹底的な処罰は、意次の後に政権を掌握した松平定信が、田沼時代に代わる新時代を演出するために行ったと考えられています。

そして、相良城の破却から約半年後の天明8年7月24日、意次は、失意のうちに生涯を終えました。享年70歳（数え年）。遺体は、田沼家の菩提寺である勝林寺（東京都豊島区駒込）に葬られました。

意次の死後、松平定信は、田沼時代の風潮を改め、天明の大飢饉などで動揺した幕藩体制を再建するため、農村の復興や倹約の強制、綱紀の粛正などを進めました。しかし、それらの政策があまりにも厳しかったため、田沼時代を懐かしむ狂歌が流行ったといわれています。

さて、田沼意次とは、どのような人物だったのでしょうか。意次に関する史料は非常に数が少なく、特に思想や信条がわかるものはほとんど残っていません。その中で、老中失脚後、後を継ぐ子孫の



田沼意次侯墓碑
(勝林寺境内)



田沼意次侯肖像画（市史料館所蔵）

ために遺した「遺訓」は、意次の性格や経験則が反映された貴重な史料と評価されています。

「人情之正道」で始まるこの遺訓は、七面大明神や七曜紋に合わせたのか、七カ条で構成されています。ここでは、第一条で將軍への忠節、第二条で親と親類への孝行、第三条で他家との付き合いの大切さ、第四条で家来への気遣い、第五条で武芸の奨励と遊芸の嗜み、第六条で幕府との良好な関係、第七条で財政運営の心得と年貢増徴の厳禁を説いています。幕府から追

い出されても、なお忠義を果たそうとする意次の姿勢が込められています。

この遺訓からうかがえるのは、意次が従来の賄賂政治家というイメージから程遠い、実直な人柄だったことです。少なくとも、意次が私利私欲で動く人物でなかったことは間違いありません。

田沼家ゆかりの地に生きる私たちが今後伝えていかなければならない意次の人物像とは、このように幕府ひいては將軍を尊崇し、忠節を尽くす「律義者」としての姿なのではないでしょうか。

2019年2月号から15回にわたり掲載してきました「田沼意次侯生誕300年」記念連載は、今号で最終回となります。ご愛読いただきありがとうございました。



TEAM USA SURFING



2020東京五輪サーフィン競技出場選手紹介！

本市はアメリカ合衆国と中華人民共和国のサーフィン競技のホストタウンに登録されています。東京オリンピックに出場するアメリカ代表選手4人が内定しました。今回選ばれた4選手は全員がメダル候補です。みんなでUSAサーフィンチームを応援しよう！

問い合わせ 情報交流課 桑田 ☎030040



Kolohe Andino (1994年3月22日生)

ASP 6-Star Quiksilver Brazil Open 2011年チャンピオン、Vans Pier Classic world tour event 2011年チャンピオン。



Caroline Marks (2002年2月14日生)

女子チャンピオンシップツアーの資格を獲得した史上最年少のサーファー。2016年全米オープンジュニアチャンピオン。



John John Florence (1992年10月18日生)

世界サーフィンリーグの最高峰チャンピオンシップ・ツアー (CT) に出場し、2016、2017年に2年連続で男子年間チャンピオン。



Carissa Moore (1992年8月27日生)

2011、2013、2015、2019年に世界サーフィンリーグ (World Surf League=WSL) 女子ワールドツアーチャンピオン。

USAオリンピック関係者がPR映像を作成しました

これは、2020東京五輪前後で、本市への訪問が見込まれるアスリートやスタッフを対象としたPR映像で、ホストタウンである本市の風景や市長インタビューも盛り込まれる予定です。映像完成後には市ホームページなどで公開する予定ですので、ぜひご覧ください。



日本文化体験



市長インタビュー



茶畑と海岸

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、2020東京五輪・パラリンピックは当初の予定を延期し、2021年7月23日(金)に開幕を迎えます(競技日程は調整中)。市では、引き続きUSAサーフィンチームが最高のコンディションでプレーできるように応援していきます。